

取組名称：持続可能な社会につながる人的財産の育成
大学名：山口県立大学

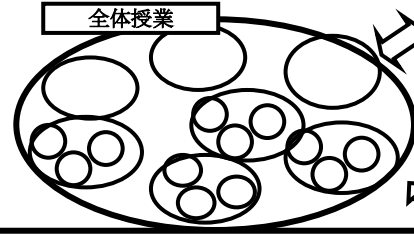
○取組概要

本補助事業の全体の目的は、持続可能な社会に繋がる環境教育の推進として、本学共通教育における基礎科目の充実を図り、4つの理念「人間尊重、地域との共生、生活者の視点の涵養、国際化への対応」の実現における人材養成に資するため、EMS(EA21)を骨格とし

- 1) キャンパスルーキー応援科目として全学必修の基礎科目4単位を開講し、生活基盤形成時に環境と健康に配慮したライフスタイルを確立
- 2) 専門的知識や実践力を修得する副専攻「環境システム」: 基礎的態度を身につけた全学の2年生以上の学生を対象に開講するもので、環境に関する専門水準が担保され、社会的ニーズに応えられる人材を育成

● **取組の内容・ポイント**

1) 授業方法・内容の概要

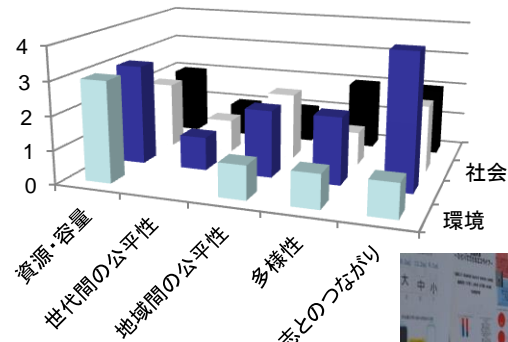


全体授業：双方向レスポンス型授業
 (学習意欲の向上、理解度把握)
 授業評価コミュニケーションボード
 教育内容の標準化

複数学科混成の少人数ゼミ方式：教員との適切なコミュニケーション、リーダーシップ、チームワーク、複眼的視野グループ内電子掲示板

3グループ協働授業：グループ間コミュニケーション、教員間FD授業方法の検討

授業外アクティブラーニングスペースの提供：コピーボード、移動式机・イス、共有資料保管場所、LAN設置



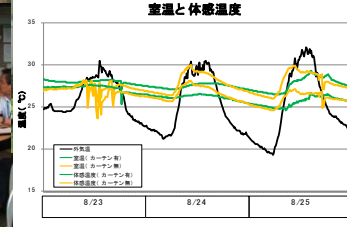
グループ学習のテーマ分離とポスターセッション



キャンパスのごみ分別状況徹底調査

2) 副専攻「環境システム実践力養成」概要

要 実習や先端の講義、多世代間の議論を通して多角的なもの見方やシステム思考を修得し、即戦力の環境人材を養成することが可能になった。副専攻履修者も年々増加している。



● **取組の成果**

- 1) 導入教育に関しては、全ての1年生が大学における学修の基礎的スキルの修得を果たしたほか、市民としての責任感や自律性の重要性を把握した。
- 2) 副専攻については、平成22年度に初めて認定することになるが、卒業時の累積GPA2.5以上という必要条件にもかかわらず、毎年履修者が増加している。さらに、平成22年度より環境実践専門実習が大学イニシアティブとして中小事業所のEMS構築支援を実施することになり、名実ともに即戦力の人材育成に繋がっている。

● **学内外からの評価**



学生の授業評価をはじめ実習先企業からも高い評価を得ている。平成21年度末にこれらの取組を「初年次からのサステナ学」として報告した。これに対し学外からの評価を集約しているところであるが、授業内容・方法・質ともに高い評価を得ている。